

【桑折町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末の導入によって、児童生徒一人一人の学習進度の把握が容易になった。学力の向上には、個別最適化された学びの環境が重要であることからICTのより効果的な活用が求められている。

桑折町教育振興基本計画の「人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子の育成」という基本理念の下、一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育のため、ICT学習環境を整備することにより、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指す。

2. GIGA第1期の総括

桑折町では、令和元年度に町内小・中学校における無線ネットワーク環境を構築するとともに、令和2年度においては全児童生徒に1人1台端末を整備、家庭にネットワーク環境がない世帯へモバイルルーターを貸与するなど、タブレット端末の日常的な利活用の促進を図った。

しかし、長期休業期間以外における家庭学習での端末活用が進んでいないことや、容量不足による不具合など、日常的な利活用への課題が見受けられた。

3. 1人1台端末の利活用方策

個別最適化された学習環境の整備のため、下記の方策に取り組む。

(1) 1人1台端末の積極的活用

AI型教材や個別学習アプリ、タイピング練習アプリの活用を促進するとともに、持ち帰り学習の徹底を実施する。

また、教員自身がICT環境への理解を深め、子どものICT活用支援の強化を図る。

(2) 学びの保証

教室で授業を受けることができない児童生徒やその他の特別な支援を要する児童生徒に対して、1人1台端末を用いた学習機会の提供を行うとともに、端末やネットワーク環境を適切に管理・更新することにより、引き続き安全・安心な学習環境の整備を図り、誰一人取り残されない学びの場を提供する。